

# Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

## 新潟県

### K・Mさん（母）

交通事故で即死、ある日突然主人を亡くしました。辛くて切なくて毎日後悔の日々を過ごして、子どもを育てるため一生懸命働きました。息子が成長するにつれ亡き主人にそっくりになって、顔・体つきが若い出逢った時のようになってきて、うれしくもあり、子どもが主人の遺伝子を引き継いでくれていることに幸せを感じています。

## 兵庫県

### C・Tさん（母）

長い間、大変お世話になりました。

主人が亡くなった時、息子は1歳1か月…これからどんな人生を送っていけば良いのかと不安な毎日でした。子どものためにも頑張らないといけないと思う一心でここまでやってきました。経済的な不安も育成給付金のおかげで息子のやりたいと思うことをさせてあげることができました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

### 匿名希望さん（母）

この度は橋本給付金、図書カードも送ってくださり、ありがとうございました。

全く予定もしてなかったものなので、高校入学の準備金としてとても助かります。

コロナの影響で最近では物価上昇ばかりで日々の生活を引きしめなければと思っている最中でした。学校に必要なものはどうにもならないので、この給付金はとてもとてもありがたいものです。4月からの高校生活をがんばってほしいです。

大事な時期に手助けしてくださり本当に感謝しております。

## 神奈川県

### M・Iさん（加入者）M・Sさん（母）

✿加入者さまより

今回は5万円と図書カード5千円分をくださってありがとうございました。中学校の制服につかわせてもらいます。中学校では勉強は苦手だけど、がんばってやります。

♡お母さまより

この度は橋本給付金をいただき誠にありがとうございます。このように子どもの成長を見守ってくださっている方々がいることが本当に嬉しく思います。子どもが中学に入学するまで元気に成長したことが本当に喜ばしいことです。それと同時に親の元を離れていく時が近付いているようでさみしさも感じます。一日一日を大切に過ごしていきたいです。それでは本当にありがとうございました。

## 大阪府

### N・Aさん（加入者）N・Aさん（母）

♡加入者さまより

この度は、完了給付金や図書カードをありがとうございました。私は、今大学に進学し、将来の夢に向かって勉強し、日々を過ごしています。

今まで長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。

♡お母さまより

この度は完了給付金及び図書カードをありがとうございました。

当時、小学生だった娘ですが、こちらの基金のお力添えをいただき、今や私の一番の理解者となりました。長い間ご支援いただき、本当にありがとうございました。

## 匿名希望さん（母）

この度は橋本給付金を給付していただきありがとうございました。橋本むつさんのご遺志に感謝しております。

息子が安心して学業に向かうことができるのも、こうした支援があるからだと本人も自覚して生活しております。社会に出た時に、こうした支援をしていただき、成長できたということを忘れず、還元が出来る人間になってほしいと思っています。

## 茨城県

## N・Mさん（加入者）N・Rさん（母）

🍀加入者さまより

基金のおかげで習い事や、塾に通うことが出来ました。長い間のご支援ありがとうございました。

💖お母さまより

育成基金の完了給付金と図書カードをいただきましてありがとうございました。

長男が4歳の時、主人が亡くなり交通遺児等育成基金を知り加入して13年。大変ありがたい制度でした。育成給付金があったから習い事や進学も、本人の希望通りにすることが出来ました。

スマイルズで紹介される皆さんのお便りを読んで、たくさん励まされました。基金を通じて、友の会への入会もでき同じ境遇の方達との交流や色々なイベントにも参加できて、とても楽しかったです。大変お世話になりました。

## 愛知県

## M・Yさん（母）

このたびは橋本給付金と図書カードをいただきましてありがとうございました。夫を亡くした時0歳だった娘も今年小学生になります。この6年つらいこともありましたが皆さまのあたたかいご支援に励まされ、なんとかやってこられました。本当にありがとうございます。

## 兵庫県

## F・Yさん（母）

橋本給付金と図書カードをありがとうございました。先日、長男の中学校の制服採寸に行って参りました。小柄な子がぶかぶかのジャケットをはおらせてもらっている姿はほほえましく、夫と一緒に見たかったと思いました。

交通遺児等育成基金様には「どこかで支えてくださっている方たちがいる」を感じさせていただき、感謝しております。今後ともよろしく願い申し上げます。

## 山口県

## H・Yさん（加入者）

この度は、橋本給付金や、図書カードを贈ってくださいありがとうございました。

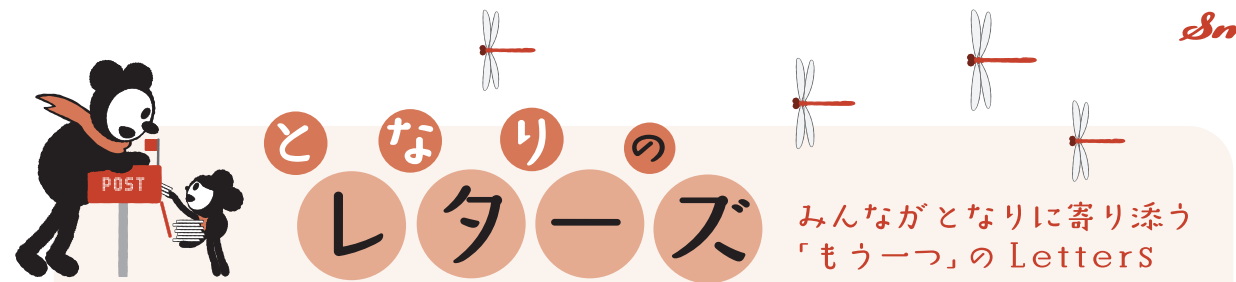
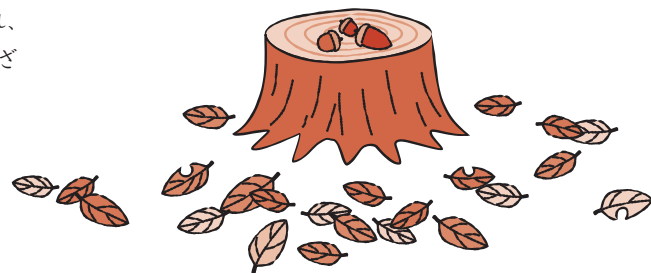
橋本給付金のほうは中学校で必要になる制服やリュック、くつなどに使おうと思います。そして図書カードは、私は絵を描くことが好きなので、イラスト用アルコールマーカーやスケッチブック、イラストをかくコツの資料を買うのに使っていきたいと思っています。本当にありがとうございます。

## 福岡県

## Y・Nさん（母）

この度は、橋本給付金に図書カードをいただきましてありがとうございました。

長男が小5の夏休みから「人生をあきらめた」などと言って学校の宿題をしなくなり、ひとり親での子育ての辛さに直面しました。その子が今回中学へ入学し宿題が始めてまだ5日しか経っていませんが、今のところ頑張っています。3年間何とか支えて私も頑張りたいと思います。



今回は、基金を卒業された保護者Oさんにインタビュー。これまでの道のりについて伺いました。Oさんは現在57歳。22年前に夫を亡くされて以来、周囲の方々のサポートを受けつつ、「どんな試練も何とかなる」を信条に、3人のお子さんを育てあげました。読者の皆様の参考にしていただけましたら幸いです。

## 第11回 保護者体験談編

## 千葉県野田市 3人のお子さんを育てたOさんの場合

夫が事故に遭ったのは、長女が10歳、次女が7歳、長男はもう少しで1歳になるときでした。仲のいい4家族で遊びに出かけて楽しんだ後に、みんなで夕飯を食べて帰ることになって、車4台に分かれて店を目指したのですが、夫だけが私と子どもたちとは違う車に乗っていて、事故に遭ったのです。集合場所で待っていても、夫の乗った車がいつこうに現れないので心配していたら、警察から連絡が入り、事故に遭い、夫が亡くなったことを知りました。「どうして同じ車に乗らなかったのだろう」と、それからしばらくは、悔やんで悔やんで……。何も手につきませんでした。

## 子どもたちが生きる力をくれました

試練を乗り越えられたのは、3人の子どもたちがいてくれたからです。子どもとの時間が私を救ってくれたと思います。子どもの成長を見ていると生きる力が湧きましたし、私が悲しい顔をしていると、子どもたちが代わるがわる励ましの手紙をくれたのです。その手紙をもらう度に胸が熱くなり、前を向くことができました。

## 子育ての問題は速やかな対応を心がけていました

とはいえ、子どもが大きくなるまでには、さまざまトラブルがありました。次女が友だちに「お前はお父さんがいないんだよね」と言われて泣いて帰ってきたり、長男の反抗期には言い争ってばかりの日々でした。そんなとき大変だったのは、私がひとりで決断して、動かなければならなかったことです。周囲の助けはありましたが、最終的な判断は私がしなければならなかったで、それに慣れるまでには時間がかかりました。でも、問題を後回しにせず、速やかに対応することを心がけていました。いま振り返ると、そう

した態度が問題を長引かせずに良かったと思います。

## 自分を労わる時間を持つてください

おかげさまで現在は子どもたちは自立して少し余裕ができました。これまでは家事に専念していたのですが、今、私は夫と義父母が営んできた農業を継いでひとりで頑張っています。畑仕事は素人で体力的にもキツイですが、息子が継いでくれる予定なので、それまで頑張るつもりです。

読者の父兄の皆さんに、私がお伝えするとしたら「定期的に自分の時間を持つこと」ですね。読書や習い事など何でもいいので、少しでもそうした時間を持つことで心が元気になって、また頑張ろうと思えるんですね。基金さんが支援・協力している「交通遺児友の会」の集いへ参加するのも、おすすめです。いつまでも事故のことを引きずる気がして、最初は私も参加するのを躊躇していたのですが、何度もスタッフの方からのお誘いがあり、参加してみたらとても楽しかったです。集いに参加された方たちとは、同じ境遇だから分かり合えることが多くて、心の支えになりました。ぜひ一度でいいので参加なさってみてください。

## 〈編集部より〉

Oさんが「交通遺児友の会(NASVA主催)」で知り合ったメンバーとは、退会してから5年が経った今でもお付き合いがあるそうです。その集いの楽しさを語るOさんの言葉の端々からは、メンバーの方々との間に、強い絆があることが伺われました。なお、Oさんが農業をすることになったのは、高齢となった義父母のあとを継がれたためで最近のことだそうです。大変そうではありましたが、大学で農業を学び、社会勉強中の息子さんがやがて継いでくれることを、ハツラツと語ってくださいました。親子で農業ができる日が早く訪れることを、スタッフ一同、心から願っています!!